

# daily コラム

2017年9月19日(火)

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル7階  
税理士法人かさい会計 TEL 092-771-4421 FAX 092-771-1417  
Email info@kasai-grp.co.jp

## アフリカ進出時の留意点

### アフリカ市場への期待、続く!?

時事通信から「日本企業、アフリカに熱視線＝大手から起業家まで」という記事が出ていました (JIJI.COM 2017/07/29)。

2016年12月のジェトロ (日本貿易振興機構)「アフリカ進出日系企業実態調査」でも、「アフリカ市場への期待、続く 5割超の企業が事業拡大に意欲、市場の成長性が魅力」とされています。これは、ジェトロが2016年9月から11月にかけて、アフリカでの日系企業活動の実態を把握し、結果を広く提供することを目的に、南アフリカ、エジプト、ケニア等24カ国の進出日系企業を対象にアンケート調査を実施したものです。対象企業373社に回答を依頼し299社より有効回答 (有効回答率80.2%) が寄せられました。主な質問項目は、業績・事業展開の方向性、現地経営上の課題、投資環境のメリット・デメリット等でした。

### 人口が増える発展途上地域としての期待

2015年4月時点でアフリカには54の国があります。榊野村総合研究所の報告書では、「アフリカの人口は、2010年に10億人を突破し、2030年には15.6億人となり、中国(13.9億人)及びインド(15.2億人)を超過することが見込まれている。2030年以降も、アフリカの人口は増加を続け、2050

年には21.9億人に達する見込みである。一方、アジアの人口は2035年頃から頭打ちとなり、また、欧州の人口は2025年頃から減少局面に転じることが見込まれている。」と記されています。

人口減少で市場が小さくなってきている成熟時代、「これからの海外進出はアフリカだ!」で大丈夫でしょうか?

### アフリカ進出時の留意点

大手企業の場合は、海外進出の長年のノウハウもあり、慣れていますが、そうでない場合には、十分な事前調査と計画が必要です。国際会計事務所では海外進出に関するアドバイス経験のある税理士によると、留意点の優先5項目は下記順番だそうです。

- 1) 最重要: カントリー・リスク…政情不安の国は何が起きるかわからない。
  - 2) 市場・成長性…これがないと始まらない。
  - 3) 規制や法令の整備・運用…国によっては運用が不透明で機能しないこともある。
  - 4) 言語・駐在員の生活環境…言語 (特に英語)・コミュニケーション上の障害の有無、生活環境は大丈夫等 (家族帯同可?)。
  - 5) 現地従業員の雇用…雇いやすさ、定着率。
- ※税務や会計はそのあとの話だそうです。



他には、インフラの充実、取引先企業が集積、税制面での優遇・投資奨励制度の充実などがあります。